

チャプター1

○嫁の実家、玄関にて(昼)
◇◇夫と妻、玄関の扉を開ける

初めまして。

娘からよく話は聞いております。なんでも、お優しくて頼りがいのある人なのだから。

あの子の事は生来、この家を背負う者として、それとたった一人の娘として、大切に育ててきました。

貴方が夫となるのでしたら安心です。

どうか、娘を...よろしく願いますね？

(数秒間開けてください)

それとなのですが...あの子から妙な質問をされませんでしたか？

具体的には...今までの経験人数と、童貞か否か、など。

実は、この家には昔からとある習わしがあるのです。

遡ること明治の時代になるのですが...代々、この家の当主は虚弱で、結核により早くに命を落とす事が多々ありました。

先代の方が残してくれた記録によると、実に9割の方がそうして30歳を迎えるか否かといった歳でお亡くなりになられているのです。

ですが、ある代の当主様の時。その当主様は女性だったのですが。

今までに女性経験の無い男性を婿に迎えたのです。

すると...そうして生まれた子供はとても健やかで元気に育ち、そしてその子供が当主となると、60歳まで生きたらしいのです。

当時の家の者は藁にもすがる思いだったのでしょう。

それから、この家にはこんな習わしができました。

婿を迎えるのならば、女性経験の無い、童貞でなければならない、と。

そうして強い精で子を成らねばならない、と。

まあ。今でこそ結核は治療が可能となり、それに伴いそのような習わしはただの形式となっているのですが。

ですが。先代がその習わしを守ってきたのです。こちらとしても、先代の思いを継ぎたいですから。

それに...実は、私の娘はあまり体が丈夫とは言えなくて。

やはり、この家の影響なのでしょうね。

ですから、婿となる貴方には、一度の行為で子を成して欲しいのです。

それと...あの子にとって、貴方との行為はまさに、待ち望んでいる瞬間でしょうから。

精は強く、大量に。一度の行為で何度も注いで欲しいのです。

そこで...相談なのですが。

今夜、私の部屋に来てくれますか？

あの子から貴方の評判は聞いています。疑う訳ではありませんが...親としてお節介とも思いますが、不安材料は解消したくて。

貴方の力量を、計りたいのです。

この家の者に、婿として嫁ぐにふさわしいか、あの子を満足させられるに足る者なのか。

必ず、来てくださいね？

CHAPTER 2

○姑の部屋(夜)

◇◇部屋の扉の前にてノックをする

はい。どうぞ。

(数秒間開けてください)

良かった。来てくれましたね。

それでは早速ですが...貴方を試させていただきます。

あちらを向いておりますので、ズボンと下着を脱いで、男性器を出してくれますか？

(数秒間開けてください)

ふむ。恥ずかしいのですか？

安心してください。やましい気持ちはありません。

なにより、貴方は娘の婿ですもの。

ただ...そうですね。貴方の精力と、精液の濃さ。それと、どれ程の間、射精を我慢できるのか。

それをこの目で見たいのです。

それでも...と言うのであれば。

(布の擦れ合う音)

私も、裸となります。これでいくらかは恥ずかしさも和らぐでしょう？

では...お願いします。頃合いを見て、こちらから声を掛けますね。

(数秒間開けてください)

終わりましたか？

では...そちらを向きますね？

(数秒間開けてください)

◇◇姑、歩いてくる

では、触りますね。

ふむ...硬くて、血管がビクビクとしてオスの匂いがしますね。

玉もズシリと重たい。

見た目と触ってみた感じだと、とても濃い精液を出せそうです。

とはいえ、実際に見ないことには分かりませんね。

では、擦りますね。

(数秒間開けてください)

ふむ。腰を引いて...どうしましたか？

あ...そうでした。ごめんなさい。経験が無いのでしたね。

それとも、想いを打ち明けた女性以外と行為をするだなんて、でしょうか？

ご安心を。直接の行為はしません。今日はこのまま、貴方のそれを手で擦るだけです。

あの子の悲しむ顔は、私も見たくないですから。

ですが...今の反応を見て確信しました。

貴方には、娘を託せる、誠実な方だと。

(数秒間開けてください)

っと。失礼しました。

体を冷やしては体に障りますからね。すぐに始めましょう。

と、その前に一つ。

私が良い、と言うまで射精してはいけませんよ？

長く耐えて貰い、それで濃い精子を作ってもら。それが目的ですから。

では...始めますね？

◇◇姑、婿の男性器の手コキを始める

ふむ...先ほどよりも血管が浮き出てきましたね。それに...ふむ。先端から透明なツユがつぷ、と。溢れてきました。

ここまで硬ければ、問題なく子を成せるでしょう。それにこのツユ。膈壁を傷つける事無く、行為ができるでしょう。

ですが、これだけじゃ足りません。

そうですね...ではここ。カリ首の所に、指を回しまして。

ふむ。動かしにくいですね。潤滑油のようなものがあれば。

ああ、そうだ。

◇◇姑、指に自身の涎を垂らす。

これで大丈夫でしょうか？

ん。こうして親指と人差し指で輪を作ると、涎でヌメって動かし易そうですね。

では、これより擦るだけではなく、カリ首の方も刺激していきますので。

くれぐれも、射精はしないようにしてください。

では、再開しますね。

◇◇姑、しごきとカリ首の刺激を同時に行う。

まあ。ビキビキと、先ほどよりも張り付けてきましたね。

ここまで激しい勃起をしていただけましたらきっと、濃い精液を出せるのでしょう。

それに...お顔を見る限り、もう限界でしょうか？

何事もやりすぎはいけないと言いますからね。

それになにより、限界を超えて無理などさせて、貴方の体に悪影響があつてはいけませんからね。

では...ふむ。そうですね。

そうだ。今から私が10から0まで数えていきます。それで、ゼロになったら...射精してもいいですよ。

数はじゅう、きゅう、はち...と、このペースが数えていきます。

その間、こちらのカリ首と擦る手は一切止めないので、我慢してください。

では...数えていきます。

◇◇姑、10から1まで順番に数えていき、1～0はわざと長めに数える

はい。もういいですよ。さあ、射精してください。

(数秒間開けてください)

ああ...凄い量ですね。それに、こんなにこってりとしてプルプルとしています。

◇◇姑、手に着いた精液を一口飲む

ん...味も濃さも問題なしですね。

ですが...これは私の勤なのですが、貴方でしたらまだ、精液の濃さも量も、増えると思うのです。

明日は...もう少し厳し目になりますので、明日は精の付くものをお食べになられてくださいね？

ですが...取り合えず、今日の所はお疲れさまでした。

お疲れになられたでしょう？良かったら、お眠りの前に、ほうじ茶はいかがですか？

今、お湯を沸かしますので。

娘が眠れないと起きてきたときにはよく、こうしてほうじ茶を淹れたものです。うふふ。

（数秒間開けてください）

また明日。必ず来てくださいね？

CHAPTER 3

○姑の部屋（夜）

◇◇部屋の扉の前にてノックをする

はい、どうぞ。

（数秒間開けてください）

今日もちゃんと、来てくださいましたね。

誠実な方というのは存じておりましたが、こうして直に行動に移していただけると、より一層、貴方をあの子の婿にしたいと...強く思います。

ですがその為には、また貴方の精力と忍耐を確かめねば、なのですが。

さ、昨日と同じように、ズボンと下着を脱ぎ、男性器を露出させてください。

私も、上だけです脱ぎますので。

（布の擦れ合う音）

ん。準備は整いましたね。

ふふ。今日も昨日と負けず劣らずの勃起具合ですね。

そうしていただけますと、こちらとしても身が引き締まります。

◇◇姑、婿の前に移動する

さて。今日なのですが...ぱいずり、というものをしようと思います。

少し、手を拝借しますね？

こうして、右と左の胸で...こうして挟むように男性器を擦るのをパイズリ、と言うらしいのです。

今回はそれで貴方のそれを刺激しますので、射精を我慢していただきたいのです。

（布の擦れ合う音）

ではまずは...胸にサラダ油を...

◇◇姑、サラダ油を自らの胸に掛けていく

んっ…。

昨日は急場しのぎで涎を使いましたが、あちらはすぐに乾いてしまいますから。

今回のパイズリは、比較的長時間行いますので、急遽、台所にあったサラダ油を持ってまいりました。

ふむ。最初はいかがなものかと思いましたが…。

◇◇姑、自身の胸を揉みしだく

こうして、揉むと…んっ…案外悪くない感触ですね。

(数秒間開けてください)

ん。これほどあれば十分でしょう。

さあ。こちらにそれを押し付けてください。

◇◇婿、男性器を押し付ける

ん…先端からビクビクと、振動が伝わってきます。

昨日よりももしや…もう限界が近かったりするのですか？

ですが…昨日も言いましたが、まだ射精してはいけません。

そもその目的は、強くて濃い精液を出していただくのと射精までの忍耐を身に着けていただくのです。

それに…今ここで射精してしまったら、私は娘を差し置いて、その婿に劣情を抱く年増の女となってしまいます。

ですから…絶対に、我慢してくださいね。

さて。では、胸で挟みますね。

ん、っと。

(数秒間開けてください)

ふふ。昨日は手ででしたから分からなかったですが…。

こうして、心臓に近い位置であなたののに触れていると、オスとしての力強さが、より伝わってきます。

すう、はあ。(数秒間開けてください)

濃厚な、オスの香りが漂ってきます。

あら？もう先走りのツユが溢れてきておりますね。

これはそんなに気持ちが良いものなののでしょうか。

くどいようですが...射精は、私がいいというまでではいけませんよ。

では、しごいていきますね。

◇◇姑、パイズリを始める。

ふむ...なるほど。こうして胸の重さを使って、しごくのですね。

それに、油が潤滑油となって、とてもやりやすいですね。

ぱいずり...前準備が必要ですが、なかなか勉強になりますね。

む。ビクビクと激しく震えていますね。

我慢してください。

昨日よりもより長い時間、我慢せねば意味がないですから。

なにがなんでも、我慢してください。

では、少しペースを上げますね。

(数秒間開けてください)

む...ふふ。

昨日よりも、先端から出るツユの量が多いですね。

良い事です。よく我慢できておりますね。

ですが...そうですね。まだ貴方ならば我慢できると思います。

まだ我慢。できますね？

私がいいというまで、できますね？

◇◇姑、パイズリのペースを上げる。

ふむ。頃合いでしょうか。これほどの時間、我慢できれば良いでしょう。

それでは、10から0まで数えていきます。ゼロと同時に、射精してもいいですよ。

◇◇姑、10から1まで数える。1～0は長く。(手コキの時より2倍ほど)

さあ、どうぞ。いいですよ。

◇◇婿、射精。

ん...胸だけでなく、顔にも掛かってしまいましたね。

ですが...スンスン(鼻を鳴らす)。ここまでオス臭く、濃い精液を出すことができましたね。

◇◇姑、精液を多めの量を飲む。

ん。昨日よりも味も濃く感じます。

よく、頑張りましたね。

これでつつがなく、最後の力量を計ることができます。

ですが...取り合えず、今日はお疲れさまでした。

先ほど、娘の好物である肉じゃがを作ったところなのです。激しい運動をして、小腹が空いたでしょう？

良かったら一口、いかがですか？

多めに作りましたので...お代わりがご所望であれば、どうか遠慮なく。

(数秒間開けてください)

また明日。必ず来てくださいね？

チャプター4

○姑の部屋(夜)

◇◇部屋の扉の前にてノックをする

はい、どうぞ。

(数秒間開けてください)

今日もちゃんと、来ていただきましたね。

今日で3日目。貴方の精力の強さと忍耐を見せて頂きました。

射精を我慢し、なおかつ、あのよう濃い精液を、沢山出せるのです。

これほどの方であれば、健康な子が成せるでしょう。

おめでとうございます。

ですが...あと一つ。貴方に見せていただきたいものがあります。

それは...

◇◇姑、自らの服をゆっくりと脱ぎ始める

覚悟です。

これから先、娘ただ一人を愛する事ができるかの。覚悟を見せて頂きたいのです。

◇◇姑、服を脱ぎ終わる

これより私は、貴方を誘惑します。

その間、もし貴方が射精をしてしまったり、事もあろうか私に触れてしまったら...お分かりですね？

私からも、貴方には決して触りませんので。

とはいえ、貴方の人柄はこの二日間でおおよそ分かりましたけどね。

なのでこれは...私が納得するためなのです。

この家の歴史と名前を、あの子と支えられる程の覚悟があるのか。

では...始めますね？

◇◇姑、婿の左右に動きながら耳元で囁く

はあー...。ふふ。

私、実は貴方の事を一目見た時から、胸の高まりを覚えましてですね？

このような年増に、そのような感情を抱かせるだなんて罪深い人...と。心の中で思っていたのですよ？

実を言いますと...娘が貴方を紹介したときに、あろうことか娘に嫉妬してしまったのです。

ああ。もし私が先に貴方と出会えていたら、って。

それで、娘よりも先に貴方から告白されて、キスされて。

そんな事を想像すると...。

◇◇姑、熱っぽい吐息で婿の耳元に熱っぽい吐息を掛ける。
(以降、耳元で囁くイメージです。)

ここらどくどくって、えっちなお汁が流れて来て…。

◇◇姑、見せつけるように秘部を弄る。

んんっ、あっ、はっ…。

ああ…どうでしょう。もうこんなに濡れてしまいました。

それに、さっきから体がゾクゾクと疼いて疼いて仕方ないのです。

ここに、あなたのその、逞しく勃起したおちんぽを入れて欲しい。

それで…本能の求めるまま、私の子宮を突いて欲しい。

私がもうやめて、って言っても。そんなの関係なしに、沢山、ついて欲しい。

パンパン、パンパン、と。力強く、何度も、何度も。

◇◇姑、秘部を弄る速度が上がる。

あっ…んう…。

ねえ？貴方は射精しないの？私、もう…っ。

一緒に気持ちよくなりたいの。ね？だめかしら？

今だけ全部忘れて、一緒に気持ちよくなりましょう？

射精、きっと気持ちいいですよ？

自分の欲望に従って、沢山シコシコして、いっぱい出しましょう？

あっ…あっ…だめ。もう、いくっ。いっちゃん…うっ…！

◇◇姑、達して体を痙攣させる

はあ、はあ。

はあ…。

ふう。

お疲れさまでした。

射精。我慢できましたね。

貴方の覚悟、そして娘への思い。確かにこの目でしかと見届けました。

貴方であれば...安心して、娘を任せられます。

この家を背負うものとして...いえ。それ以上に、あの子の母親として、これほどうれしい事はありません。

あの子の事...よろしくお願いします。

さて。今夜は私から贈り物がございます。

この3日間を耐えてくださった貴方に是非、受け取って欲しいのです。

◇◇姑、桐箱をてにもつ。

こちらです。

こちら、袴となります。

結婚式はまだでしょう？

こちらを着て頂き、結婚式にて祝言を上げて頂けますと...私としても、とても嬉しく思います。

それでは...この三日間、お疲れさまでした。

これからも、末永く娘の事を、よろしくお願いしますね？

CHAPTER 5

○嫁の実家、居間にて(昼)

◇◇姑、嫁のお腹をなでている。

お腹。大分大きくなってきたわね。

もう臨月だったかしら？もう少し先？

二人とも、おめでとう。

よく、頑張ったわね。

ふふ。貴方、子供の頃からずっと、お嫁さんになって子供を産みたいって言っていたものね？

あ、そうそう。鼻からスイカを出す痛さっていうのは...あながち間違いじゃなかったりするのよ？うふふ。

っと、ごめんなさい。怖がらせるつもりはなかったの。

でも...何事もなくここまでこれて、本当に良かったわねえ。

ところで、二人目は考えているのかしら？

ふふ。なあって。気が早かったかしらね？ごめんなさい。

さあ、今日は貴方の好きな肉じゃがを作ったの。そのまま横になってなさい？

ああ、そうだ。貴方はこっちに来てくれる？

◇◇姑、婿に耳打ちをする

もし、二人目を考えているのなら...

また、訓練しますから。

一緒に、頑張りましょう？